

東京・大手町 de トークショー

新井素子と桑原水菜が誘う^{いざな}

『コバルト』の世界



日時:10月18日(土)

14:00~15:30

会場:大手町・読売新聞東京
本社3階 よみうりカル
チャー大手町教室

1980~90年代、集英社が発行する『コバルト文庫』は思春期の少女たちを読書のとりこにしました。発刊から来年で50年、派生レーベルの『オレンジ文庫』は今年で創刊10周年です。

その節目の年に、少女小説の研究をライフワークにする嵯峨景子さんが、ライトノベル作家の草分けとして広く知られる新井素子さんと、自らもコバルト世代の桑原水菜さんをゲストに迎え、なつかしい「コバルトの世界」を語り合います。

執筆の裏話、他の作家との交流、当時の『コバルト』の様子…嵯峨さんのナビゲートで、ここでしか聞けない話が盛りだくさんの1時間半。あなたも心躍った「あの頃」にタイム・スリップしてみませんか？ 夢中になって読んだ『コバルト』の思い出がよみがえるでしょう。



新井素子さん

日本SF作家クラブ
元会長。文庫本を
含めた著作の総出版部数は
1000万部を超える。(写真
は中央公論新社写真部提供)



桑原水菜さん

「風駆ける日」が
1989年下期の第14
回ノベル大賞でコバルト読
者大賞を受賞。代表作は
『炎の蜃気楼』。



嵯峨景子さん

ライター、書評家。
少女小説の研究を
ライフワークとする。2016
年、『コバルト文庫でたど
る少女小説変遷史』を出版。
ほかに『氷室冴子とその時
代』など。

上記講座に連動して、大宅壮一文庫は
10月14日(火)~11月15日(土)、世田谷区八幡山
の本館で『コバルト』を全冊展示するイベン
トを開催します。入館料500円(65歳以上半額)

会場受講 一般3,850円(税込み)
オンライン 2,750円(税込み)

※ほかに維持費として各220円
・会場、オンラインとも1週間の
アーカイブ配信付きです。

企画：大宅壮一文庫

協賛：集英社

主催：よみうりカルチャー